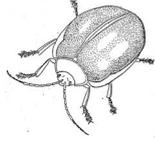


たんぽう



神戸市・相楽園で発生したクロマダラソテツシジミ

浅田 卓

クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava* は、大阪府を中心として2008年頃に大発生(法西, 2009)して以来しばらく報告がなかったが、2016年に再び大阪府周辺で発生しているという情報をもとに、9月下旬から神戸市中央区にある相楽園(そうらくえん)を調査することとした。



写真1,2. 相楽園内にあるソテツ群植地「蘇鉄園」。

相楽園は、兵庫県庁舎北側に位置する日本庭園で、背山に六甲山が控える。写真1, 2のように70株を超えるソテツが群植されている蘇鉄園と銘打った区画があるため、蘇鉄園及びその周辺において、9月下旬から1月初旬までクロマダラソテツシジミの生息状況調査を行った。調査当初より数株のソテツに食痕が認められ、他地域からの飛来だけではないと判断された。

調査初日は9月27日で気温は30度近くあり、最初に1♀を目撃した。その後、好天の日を選んで毎回12時30分～13時にかけて調査し、10月7日には複数の飛翔個体が目撃され、サンプルとして1♂1♀を採集、



写真3. 訪花していた蘇鉄園のカタバミ。



写真4. 秋に開花するホトケノザにも訪花。



写真5. ソテツの葉上に静止する低温期型個体(2016年10月24日, 近藤伸一氏撮影)。



写真6. 食痕のあるソテツの葉上に静止する低温期型個体(2016年10月24日, 近藤伸一氏撮影)。

表1. 相楽園のクロマダラソテツシジミ採集・目撃数.

調査日 (2016年9月~ 2017年1月)	高温期型		低温期型		不明 目撃	気温(°C) 神戸・最高
	♂	♀	♂	♀		
9月27日					1	31.2
10月7日	1	1			3	27.5
10月14日	1	1			2	21.8
10月20日					1	26.5
10月24日			4		5	21.9
11月1日			3	1	10	19.2
11月10日						14.0
11月16日			3		3	15.8
11月17日				1		17.1
11月25日			5	1	2	14.7
12月2日			3		10	15.2
12月9日						16.3
12月16日			1			7.9
12月19日						13.4
12月21日			1			16.9
12月28日						8.0
1月6日						10.9
1月10日						13.1
計	2	2	20	3	37	

※気温は神戸海洋気象台資料による

14日も同様の状況であった。写真のとおり、園内の地表で開花しているカタバミやホトケノザ等に訪花する個体が目立ち(写真3, 4), ソテツやツツジなどの株上では♂がテリトリーを張るシーンも見られた(写真5)。

10月下旬になると個体数が増加して、表1のとおり12月初旬までは10頭前後が目撃される日が続いたが、気温の低下とともに活動不活発となり、12月中旬から一気に確認できる個体数が減少した。

表1に記したとおり、目撃を除く10月14日までに採集した個体は高温期型なのに対し、10月24日以降に採集した個体は全て低温期型に変わった。ただ、調査日の最高気温(神戸)は両日に大きな変動がなく、発生も連続していた。両型の出現と気温の間には特に有為性を説明できるデータがないので、蛹化した時点(不明)まで遡らないと理由が推察できない。

その他に報告するべき点として、発生当初から♀よりも♂の個体数が多く見られたが、12月初旬からはほぼ♂のみが目撃されるようになった。また、11月以降に採集したのはほとんど新鮮な個体なので、他から飛来したのではなく、園内で羽化した個体が主体と推察できる。ただ、写真6にあるような食痕の残るソテツ数株を調べたが、蛹や抜け殻等は発見できず、蛹化場所の特定までにはいたらなかった。

なお、気温が10度以下となった12月16日の1♂は、低温の影響を受けたのか羽化不全であったが、結果としてシーズン最後に目撃・採集した12月21日の1♂は健全な個体であった。

おわりに、今回の相楽園のクロマダラソテツシジミ調査を提案いただき、10月下旬の調査に同行いただき

た近藤伸一氏に感謝を申し上げる。

○参考文献

法西浩, 2009. 兵庫県西宮市・宝塚市に侵入したクロマダラソテツシジミの野外観察と飼育記録. 人と自然, 20: 133-137.

(Takasi ASADA 兵庫昆虫同好会)

兵庫県伊丹市でクロマダラソテツシジミを採集・観察

脇村 涼太郎

筆者は2016年9月4日に伊丹市内において、クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava* を採集・観察しているの、報告する(写真)。



クロマダラソテツシジミは南方系のチョウで日本では迷蝶として扱われている。兵庫県では2007年に初めて記録された(平井ほか, 2008)。そして2008年には兵庫のみならず関西圏で大量発生した(法西, 2009)。しかし、その後の記録はあまり無い。

今回採集観察したのは、伊丹市内にある兵庫県立伊丹西高等学校の校門前に植えてあるソテツで、先に友人の押川匠君(伊丹市立天王寺川中学校3年)が高校見学の時に見つけて数個体採集している。その後場所を教え